

## 腐蛆病ふそに注意しましょう！

腐蛆病は蜜蜂の子（蛹と幼虫）が腐る病気です。原因は細菌で、アメリカ腐蛆病とヨーロッパ腐蛆病があり、家畜伝染病予防法で家畜（法定）伝染病に指定されています。

### アメリカ腐蛆病（原因菌：*Paenibacillus larvae*）

- ・感染した幼虫は、蛹になるために巣房に蓋がされた後に死ぬことが多い。
  - ・死んだ幼虫は原因菌によって分解され、ネバネバとした状態になり、色が次第に茶色から黒色へと変化する。
  - ・巣房の蓋は黒ずみ、張りを失ってへこみ、膠（にかわ）臭がする。
- ※膠：木竹工芸の接着剤に使用される動物の骨，皮，腱などから抽出したゼラチンを主成分とする物質。

### ヨーロッパ腐蛆病（原因菌：*Melissococcus plutonius*）

- ・感染した幼虫は、巣房に蓋がされる前に死ぬことが多い。
- ・死んだ幼虫は成虫によって巣から排除されるが、排除されない場合は乳酸菌などによって、張りがなくなり、乳白色から褐色の水っぽい状態になる。
- ・巣房は蓋のあるものとなないものが混在し、発酵臭、酸臭がすることがある。

感染予防のためには、適正な管理を行い、蜂群を強く保つように心がけましょう。  
使用した蜂具等は洗淨・消毒しましょう。巣板は長く使用するとロウやプロポリスなどがこびりつき、細菌などの温床となるので、一定期間で取り替えましょう。

蜜蜂の伝染病かな？と思ったら家畜保健衛生所にご連絡ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679

